

小学校版「SOSの受け止め方指導プラン」学年・学年ブロック集会（小学校低学年）

- 1 ねらい 相談の受け止め方を確認し、これまでの学習内容を振り返ることで、生活に生かしているという意欲を高める。
- 2 準備 ワークシート、資料（授業で使ったプレート）等、
T 2（管理職や専門の先生等）との打合せ
- 3 展開

学習活動（15分）○：留意点 点線：評価 ☆：振り返りの児童の意識
1 学級活動の内容を振り返り、授業の感想や分かったこと等の意見交流を行う。（6分） ・「相談の受け止めさん」について、内容を確認する。 ・学活の授業での感想を伝え合う。 ○司会進行は、教員が行う。 ○授業で使ったワークシートを児童に返却しておく。 ○授業で使った掲示資料を見せて「相談の受け止めさん」について想起できるようにする。 ○授業を振り返り、感想を数人の児童から吸い上げる。 ○友達の考えと自分の考えを比べながら聞くことを伝える。 ☆考え方って色々あるんだな。 ☆自分と同じ考えの友達がいると、なんだか安心するな。
2 これまでの学習のまとめをする。（5分） ①SOSの受け止め方に関する学習のまとめをする。 ○児童に話す内容は、以下の点等について触れてもらうよう、T 2に事前に伝えておく。 ・友達の様子の变化に気づき、声をかけることが大切であること。 ・相手を思いやりながら聴話をくことが重要であること。 ・先生や親などにも伝え、解決につながるようにすること。 ☆友達のたくさん声を掛けていきたいな。 ☆先生にも伝えて、みんなで解決させることができるようにしたいな。
3 振り返りをする。（4分） ②SOSの出し方・受け止め方に関する学習のまとめをする。 ○学年の担当教員が、以下の点等について触れ、これまでの学習の振り返りができるようにする。 ・今後の生活で意識してもらいたいこと。 ・「相談の出し方さん」「相談の受け止めさん」を上手に使っていくこと。 ・相談中に違う友達に話しかけられたら「ちょっと、まっけていてくれるとうれしいな」「後で聴くのもいい？」等の言葉を伝えられるとよいこと。 ・先生や親、地域の人達たちがゲートキーパーとして、常に身近にいること。 ☆「相談の出し方さん」と「相談の受け止めさん」を使っていきたいな。 ☆友達にも、先生にも相談をしていきたいな。